

花乃井だより

学校
通信

令和4年11月8日(火)

第107号

大阪市立花乃井中学校

暦の上でも冬に入りました!!

昨日の11月7日は24節気でいう立冬にあたります。暦の上でも冬に入りました。今年は秋が一瞬で終わってしまったような気候となりましたが、これからどんどん寒くなります。新型コロナやインフルエンザに気をつけて体調管理をしっかりしていきましょう。



立冬は冬支度を始める時期でもあります。寒さが厳しい地域では暖房やその燃料の準備をしたり、雪対策をしたり、食べ物を備蓄したりします。また、冬眠をする動物にとっては、この時期にしっかり食べて体に脂肪などの栄養を蓄えておかなければなりません。冬への備えをしっかりとすることで、厳しい冬を乗り越えることができるのです。

都会に暮らす私たちには、“冬”への備えは物質的なものについていえば特にこれといって必要ないかもしれません。しかし人生についていえば、“冬が来た時”（様々なトラブルやピンチで苦しい時）のために、それを乗り越えるための“心の栄養”は常に蓄えておかなければなりません。“心の栄養”と言えば、苦難に負けない強い意思、勇気や思いやりや寛容の姿勢等々…。それらの栄養で心を豊かにしていくことが大切です。これからの様々な取組みを協力して達成していく中で、心をどんどん豊かにしていきましょう。

心を豊かにしていく方法の1つに読書があります。校内の“読書の木”が紅葉になりました。今回も全校生徒でたくさんの本を紹介してくれました。実は10月27日～11月

9日の期間は読書週間になっています。今年で76回目となるこの取組みは、戦後間もない社会にあって「読書の力によって、平和な文化国家をつくろう」という思いが結実して報道機関などが中心となって全国へ広がりました。2回目からは「文化の日」を挟んでの2週間となりました。今年のテーマは「この一冊に、ありがとう」です。皆さんにはありがとうございます？

【校長のおすすめ】

世界的に有名な「アンネの日記」（アンネ・フランク 作）。自らの短い一生を綴ったこの日記は何度も映画化やドラマ



化されて、今なお読み(語り)継がれている名作です。まだ読んだことがない人はぜひとも手に取って読んでみてください。

およそ2年間にわたって、ナチスからの迫害に堪え忍び、家族や知人との隠れ家で生活するアンネは、13歳の誕生日に両親からもらった日記帳（キティー）をつけました。そこに描かれた彼女の生きようとする姿は、読む者的心を強くしてくれるとともに、戦争をはじめとする社会の理不尽を教えてくれるに違いありません。



1年学年役員会 ⇒ 校外学習をきっかけにして、みんなが納得する
話し合いができるようにしよう!!

2年学年役員会 ⇒ 常に良い緊張感を持ち、誰に見られても恥ずか
しくないよう行動しよう。

3年学年役員会 ⇒ 1分という時間の重みを心に刻もう。

風紀委員会 ⇒ 1年 服装を整えて、正しい学校生活を送ろう。
2年 目を見て、元気よくあいさつをしよう。
3年 身だしなみを整えよう。

体育委員会 ⇒ 1年 自分で考え行動しよう。 2年 行動を改めよう。
3年 寒さに負けずてきぱき動こう。

保健委員会 ⇒ インフルエンザが流れてきたので、より一層 体調管理を心がけよう!!

美化委員会 ⇒ 給食の片づけも掃除もしっかりしよう!!

図書委員会 ⇒ 全体目標 読書のあゆみを書き、図書室を利用しよう。
学年目標 1年 読書の時間を使って、読書のあゆみを書こう。
2年 読書の秋なので、図書室へ行こう。
3年 テスト勉強に図書室を利用しよう。

生徒会執行部 ⇒ テキパキ行動して、時間をつくれるようにしよう!!

